

# 医療的ケア児等支援者養成研修実施 の手引き

---

# 目 次

## I 医療的ケア児等支援者養成研修の基礎的理解

1. 「医療的ケア児等」とは
2. 「医療的ケア児等支援者養成」の受講対象者
3. 「医療的ケア児等支援者養成研修」のカリキュラム

## II 地域で医療的ケア児等支援者養成研修を実施するために

1. 運営体制の整備
2. 予算確保
3. 会場と開催日
4. 講師等の選定
5. 募集・受付の準備
6. 研修会資料等の準備
7. 研修会開催
8. 研修会最後のまとめとふり返し

## III 参考情報

## I 医療的ケア児等支援者養成研修の基礎的理解

この研修は、「医療的ケア児等」の支援を行う支援者を育成するための研修です。

### 1. 「医療的ケア児等」とは

この研修でいう「医療的ケア児等」は、次の障害児者の方です。

- ・人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児
- ・重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している重症心身障害児者

### 2. 「医療的ケア児等支援者養成研修」の受講対象者

医療的ケア児等支援者養成研修の受講対象者は、地域の事業所等で医療的ケア児等を支援している方および今後支援したいと考えている方です。障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所、保育所等、認定こども園、幼稚園、学校、放課後児童クラブ等で働いている方やボランティアの方、学生の方等、幅広く対象としています。

### 3. 「医療的ケア児等支援者養成研修」のカリキュラム

医療的ケア児等支援者に必要な医療的ケアに関する基礎知識、利用できる福祉サービス等社会資源、家族支援、関係機関の連携及びネットワーク構築のための具体的なノウハウ等を学ぶためのカリキュラムとなっています。

## II 地域で医療的ケア児等支援者養成研修を実施するために

地方自治体においては、研修を実施するにあたり、以下の点に留意し、企画・運営を行っていただきたいと思います。

### 1. 運営体制の整備

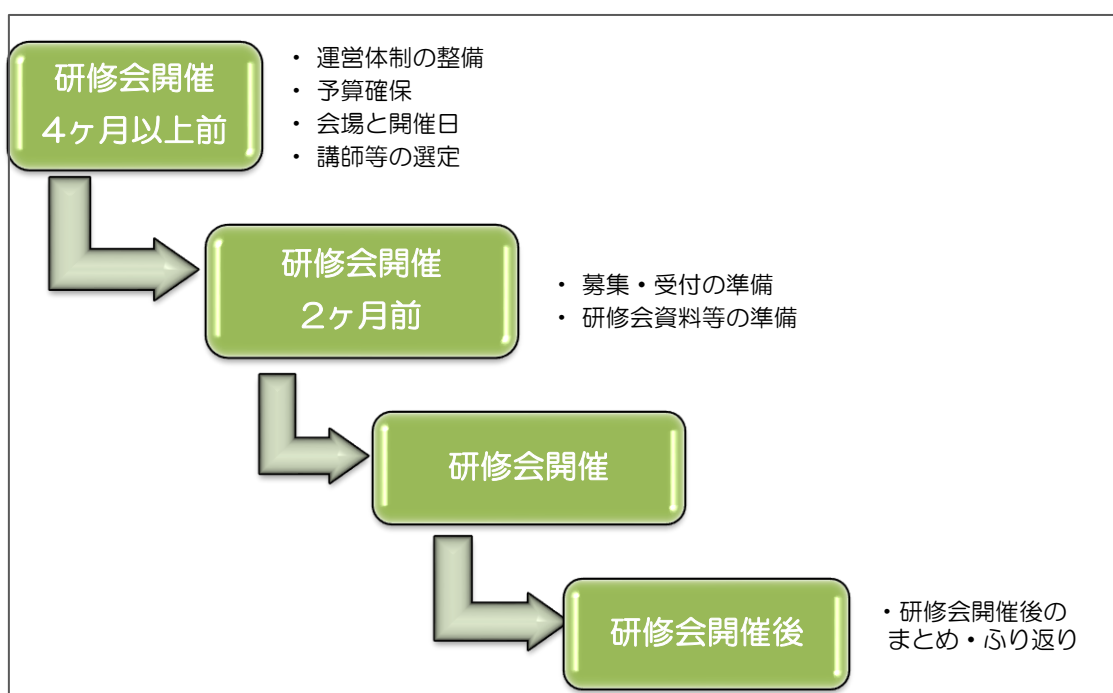
医療的ケア児等支援者養成研修の運営体制は、「事務局」と「実行委員会（検討チーム）」を分けた方が望ましいと考えます。

- 事務局：研修の準備から報告までの進行管理と事務一般を行います。

- 実行委員会（検討チーム）：医療的ケア児等の方への支援経験が豊富な人を中心とした検討チーム（実行委員会）を組んで、この検討チームが地域の事例に則した演習内容等を検討するなど、主体的に研修の企画・運営を行います。なお、地域の自立支援協議会等既存の会議の活用も考えられます。

なお、この研修の企画・運営を行う実行委員会等を通して、地域において、医療的ケア児等支援の情報交換等を行うことができるネットワークが作られ、医療的ケア児等の支援体制の構築が進むことも期待されます。

研修を開催する際には、次のスケジュール案を参考にして下さい。



## 2. 予算確保

事務局や実行委員会の規模や事前準備の頻度、講師の謝金、会場費、開催案内とその配布等により支出が決まってきます。この手引き書では、具体的なモデル案は提示しませんが、受講者の自己負担額をどの程度に設定するかは本研修において重要な事項です。

## 3. 会場と開催日

研修の支出額に大きな影響を及ぼすのが、研修会場の確定です。公的な会場の利用が可能なら、費用をかけずに会場の確保ができます。一方、比較的大きな定員を想定した場

合、会場をおさえるには、早い段階から企画を立案する必要があります。会場を確定することで、募集定員が自ずと確定します。また、演習の運営方法次第で定員も変わってきますので、慎重に判断してください。研修は、可能な限り、現場で働いている受講生にとって参加しやすい日程を組んでいただければと思います。

#### 4. 講師等の選定

研修講師の選定が必要となります。講師には、原則「実行委員会」のメンバーが分担し、実施することが望ましいと考えます。

「受講者用テキスト」以外の資料については、講師・発表者に事前に作成依頼し、当日までに印刷しておく必要があります。研修で用いることができるパワーポイント資料は、自治体担当者にデータで配布いたします。

研修講師には、地元で活躍されている者で、または将来活躍されるだろう者を含めることが効果的でしょう。

#### 5. 募集・受付の準備

地域の障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所、保育所等、認定こども園、幼稚園、学校、放課後児童クラブ等に、研修の開催要項について情報が行き届くような方法を工夫してください。代表的な募集方法は、次のとおりです。必ず複数の方法を組み合わせせて広報を行ってください。

- チラシを印刷し配布する（郵送・FAX）
- 事業者が必ず閲覧する WEB ページに掲載
- 事業所間のメーリングリストで送付

受講者には、受講決定書と事前提出書類を発送します。

#### 6. 研修会資料等の準備

- 研修テキスト（「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト」）
- バインダー（受講生用のテキスト・資料等をひとまとめにする）
- 研修テキストの補足資料
- 座席表

- 名札（受講者用・講師用、事務局用）
- 参加者等名簿
- 受付セット一式（参加者名簿、文房具、領収書、つり銭）
- 修了証
- ノートパソコン（液晶プロジェクター接続用ケーブル）
- 記録用器具（デジタルカメラ、ビデオカメラ、三脚、記録媒体）
- その他事務用品（梱包用具、紙コップ等）

## 7. 研修会開催

医療的ケア児等支援者養成研修のカリキュラムは次のとおりです。各自治体においては、この科目、内容、時間数を基に研修を組んでください。

## ■ 医療的ケア児等支援者養成研修日程表

科目名	時間数	内容
1 総論	1 時間	①医療的ケア児等支援の特徴 ②支援に必要な概念
2 医療	3 時間	①障害のある子どもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理 ④日常生活における支援 ⑤救急時の対応 ⑥訪問看護の仕組み
3 福祉	3 時間	①本人・家族の思いの理解 ②支援の基本的枠組み ③福祉の制度 ④遊び・保育 ⑤家族支援 ⑥虐待
4 連携	2 時間	①小児在宅医療における多職種連携 ②連携・協働の必要性
5 ライフステージにおける支援	3 時間	①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ②NICU からの在宅移行支援 ③児童期における支援 ④学齢期における支援 ⑤成人期における支援 ⑥医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援

## 8. 研修開催後のまとめと振り返り

研修会開催後に研修についてのまとめと振り返りを行ってください。

## Ⅲ 参考情報

関連する研修がありますので、さらに学びたいとする受講者にご紹介のほどよろしくお願ひします。

### A 『全国重症心身障害日中活動支援協議会』

概要：行政説明（厚労省・障害保健福祉施策の動向）、及び重症心身障害児者へ日中活動系サービスを提供している事業者の実践報告等

参加対象：全国重症心身障害日中活動支援協議会の会員、及び重症心身障害児者の支援に携わる者

開催月：毎年10月（※H28年度は10月6～7日）（2日間）

開催場所：全国を6地区に分け毎年順番に開催する。開催地区の担当事業所が会場を手配する（H28年度は中国四国地方）

主催：全国重症心身障害日中活動支援協議会

※実践報告のテーマ「日中活動」「医療・看護」「家族・地域・その他」

※希望者のみ施設・事業所見学あり

問合わせ先：全国重症心身障害日中活動支援協議会  
011-879-5555（TEL）〈担当：木村〉

#### B『全国重症心身障害日中活動支援協議会 地区別研修会』

概要：地区ごとにテーマを設け研修プログラムを作成し企画、開催する

参加対象：全国重症心身障害日中活動支援協議会の会員、及び重症心身障害児者の支援に携わる者

開催月：開催月は地区による（例年、7月から11月の間）（1又は2日間）

開催場所：開催担当事業所が会場を手配する（全国を7地区に分けて地区ごとに研修会を実施）

主催：全国重症心身障害日中活動支援協議会 地区担当事業所

※昨年度の研修プログラム例 講演、シンポジウム、グループ討議、体験型ワークショップ、実践報告、施設見学等

※昨年度の主な研修テーマ：地域社会との連携・呼吸管理が必要な方の日中活動参加・通園におけるリハビリテーション・医療的ケアの必要な重症児者の受入れの課題と体制作り・看護と介護の連携・地域生活における課題と展望・子どもの遊びについての学習・音楽療法・地域生活の広がりを目指す取組・日中活動支援における具体的な医療的ケア

問合わせ先：全国重症心身障害日中活動支援協議会  
011-879-5555（TEL）〈担当：木村〉

#### C『重症児ケアにおける医療・福祉・教育の連携』



概要： 各地域で重症心身障害児者をはじめとした医療的ケア児に対する生活支援のための多職種連携ができるように先進地事例を学び、今後、受講生が各都道府県の医療計画及び、福祉計画の立案に委員として参画できるよう行政の仕組み等についても理解を深める内容を企画する。また多職種の顔と顔が見える連携の構築方法について理解を深め、受講生がより、地域に根付いた活動が行える内容も盛り込む。

開催月：平成28年10月22日（1日間）

開催場所：愛媛県松山市市内 調整中

参加対象：80名

主催：日本訪問看護財団

問い合わせ先：公益財団法人日本訪問看護財団立 在宅ケアセンターひなたぼっこ  
089-993-6774（TEL）〈担当：安藤〉

#### D 重症心身障害児者等コーディネーター育成研修

概要：重症心身障害児者及び医療的ケア児に対し、地域で暮らすための社会資源のコーディネーターとして機能する人材を育成することを目的に、平成27年度厚労省科研にて作成した2つのプログラム（重症児者支援者育成、コーディネーター育成プログラム）を基本とし、愛媛周辺地域の相談支援専門員と訪問看護師を対象に研修を開催する。

主催：日本訪問看護財団

開催月：平成29年2月～3月（4日間）

開催場所：愛媛県松山市市内

参加対象：50名

問い合わせ先：公益財団法人日本訪問看護財団立 在宅ケアセンターひなたぼっこ  
089-993-6774（TEL）〈担当：安藤〉

#### E 『医療的ケア研修セミナー』

目的：家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする

対象：重症神経疾患児・重症心身障害児（者）等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など

開催日：平成28年11月27日

開催場所：長崎大学病院第4講義室

主催：一般社団法人日本小児神経学会

問い合わせ先：一般社団法人日本小児神経学会  
03-3351-4067（F A X） childneuro-jscn@mbr.nifty.com

F『小児等在宅移行研修事業多職種合同研修』

目的：小児在宅医療にかかわる多職種が支援する子どもの病態、支援制度についてそれぞれの職種の文化を超えて、共に学び合い、協同作業を行うことで、実際に重症心身障害児や医療的ケア児の支援を行うためのスキルを身に付ける

主催：東京都（東京都から医療法人財団はるたか会が委託をうけての事業）

開催日：平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月まで

研修日数：2 日間

開催場所：東京都内

参加対象：都内の在宅診療を担う診療所医師 周産期母子医療センター等の職員、保健所、保健センター等の保健師、訪問看護ステーションの看護師、区市町村障害福祉主管課職員等

参加費用：無料

問い合わせ先：医療法人財団はるたか会 子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田  
03-6658-8792（TEL） 〈担当 部・井上〉